

どこまでも正攻法

西荻塾

大学受験

中高一貫
中学生

難関大学志望者向け

授業要項

中高一貫校においては、そのメリットを最大限に活かすべく効率的な授業が行われています。そのため、中学校の段階で高1程度の内容であれば履修済みとなる学校も多く、難関と呼ばれる学校においては、早くから理文の別を意識させる授業も展開されています。無駄がないということは、大学受験に取り組む上での至上命題というべきですが、ちょっとしたボタンの掛け違いや油断が遅れ・理解不足につながり、苦手意識を生むことも否定できません。

当塾では、教材・進度ともすべて中高一貫校に在籍される生徒さんの現状と各学校のカリキュラム、教授内容を総合的に考慮して指導にあたります。成績が伸びるにとどまらず、得意科目を増やし、大学受験に向けた効果的な学習をサポートします。

開講講座の紹介

■ クラス授業（中高一貫クラス）

指導4本柱

- ・ 専門性に裏打ちされた授業
- ・ 問答授業の活用
- ・ 添削結果を活用した授業
- ・ 自習指導との密な連携

開講科目 英語・数学

※学校のカリキュラムに合わせた指導をご希望の場合は、個別授業をご検討ください。

西荻塾の中高一貫校在籍者の指導は、大学受験（とりわけ難関大学）が目標となります。そのため、高校受験クラスとは別にクラスを編成します。そして、中学の早い時期から、記述力、論理構成能力など、大学受験で求められる能力を意識的に鍛え、長期間にわたって継続した指導を行います。

したがって、自分の苦手な箇所にピンポイントで対応するのはもちろんのこと、得意な箇所をさらに伸ばすことも可能になります。また、自分では得意だと思っけていても、思わぬところに落とし穴が潜んでいることも多く、「わかったつもり」「得意なつもり」にならないよう、長い目で指導することができます。



数学		とりわけ、中高一貫校では中学内容を2年弱で終わらせることが多く、一部高校内容の先取り内容（不等式、絶対値の文字計算、確率分野など）も含まれ、ここで躓くと高校内容で苦労します。逆に言えば、ここで波に乗ると受験数学はかなり戦いやすくなるということです。中高一貫の数学カリキュラムと教材を熟知しておりますので、大学受験や内部進学等、先を見据えて徹底した研鑽を積ませます。
	中高一貫	高校の数学では、新しい概念がたくさん加わり、さらに、複雑な計算に耐える忍耐力とスピードが要求されます。しかし、「それはできることが増える」ということ。まずは、正確な計算と概念の理解を徹底して行い、その基礎体力を身につけます。そして、学校配布の問題集などを利用して自分できちんと反復演習をし、しっかり各種試験（定期試験、模擬試験）で点数を出せるよう、学習の仕方についても指導を行います。試験前は、学校別に対策用教材を準備し、徹底して反復演習を行います。
英語		大学受験の英語は、文法と単語などの知識を正確にそして速く使いこなして、解答につなげる力を求めます。中学3年終了までに、英語長文を息切れすることなく読み切り、日本語のみならず英語によっても解答や意見を記述できる力を目指します。クラスの目標として、 <u>中2終了時に英検3～準2級、中3で準2～2級の取得</u> を設定しており、普段おざなりにになりがちなりスニング・作文等についても意欲を喚起して指導します。
	中高一貫	英語の読んだり組み立てたりする基本の力は、しっかりと文法に則って読み書きできる力を育てることです。いわば英語の骨組みとなる文法は、高校内容も含めて中学3年までに押さえること、これが最初の目標です。この流れに並行して、読解と和文英訳に取り組み、身につけた文法を読み書きに活かすトレーニングに取り組み、 <u>中学3年終了時には基礎的な大学入試に対応できるレベル</u> を目指します。また、英語は日常の短い時間でも学習を進められる科目です。単語をはじめとして、地道な努力を要する日常学習を効率的に進められるように指導します。
国語 古典を含む		中高一貫校では、中2頃より、大学受験の基礎レベルの古典の授業もはじまります。「古典」の勉強方法は、英語と似通っているのですが、英語ほど意識が向かず、「なんとなく乗り切る」子が多く、結局高校に入ってから再度詰め直しになってしまうことが多々あります。また、現代文についても、「日本語だから」とおざなりになりがち。「 <u>大学受験の国語は、積み重ねであり、最も一朝一夕がしんどい科目である</u> 」。国語でしっかり点を取らせ、大学受験でしっかりと実績を残してきた塾だからこそ、中高一貫校でも重要科目として位置づけています。
	中高一貫	古典の授業が本格的に始まるまでは、徹底して国文法と語彙力（漢字力）、そして読解力を鍛えます。結局、日本語の語彙力とその運用力（一生の力だと思いますが）が最後はカギになりますが、これは短期間で習得できるものではありません。 <u>人は、「ことば」をもって自分のまわりの世界を把握・認知し、解釈して適応していきますが、得た知識や語彙を用いて、「ことば」の広がりを持たせていくことはすべての知的行為の底力になります。</u> もちろん、受験で強いのはそういう生徒。古典が始まれば、国文法の力を土台にしっかり文法から鍛えます。正攻法の国語の授業ですから、定期試験も効率よく、パフォーマンスが上がってくるでしょう。

● 中高一貫クラスは入塾基準があります。

1. 中高一貫クラスは、中高一貫校に在籍される生徒のみが対象です（高校受験をされる方は、高校受験部のクラス指導等をご検討ください）。また、学校のカリキュラムに合わせた指導をご希望の場合も、個別授業の設定がございますので、そちらをご検討ください。
2. カリキュラムは、学校のカリキュラムとは異なる場合があります。英語、数学ともに、大学受験を見据えた独自の進度構成を取ります。
*詳しくは現況カウンセリング時に綿密にご相談します。

● 入塾審査・体験授業

当クラス授業に参加をご希望の場合は、まず、無料の入塾試験・体験授業、現況のカウンセリング面談を受けて下さい。テストとその解説体験授業を通じて、担当講師から現在の状況、今後の見通し等詳細なご説明を事後に差し上げます。

*体験授業の日程等は改めてご相談の上決定いたします。

*体験授業の結果によってクラス分けを行います。状況によっては個別授業をご提案することもございます（その場合でも、時期や学習状況に応じて、再度当クラスへの編入は可能です。また、別クラスへのご案内も、現況に最適な授業をご提案するための趣旨としてご理解ください）。

■ 専門性に裏打ちされた授業

あ、なるほど、と腑に落ちるまで

西荻塾は、受験生が学習の過程で抱く知的好奇心に応えうるだけの専門性と素養を十分に身につけた講師達が待っています。「ずっと腑に落ちるその瞬間まで」—いつでも、いつまでも受験生達と語り合う時間を大切にしたいと思います。

微積分やベクトルのふわっとした感じや、なんとなく読む評論文、雰囲気読んでいた英文解釈…是非、教室での専門性に裏打ちされた論理的かつ明快な説明に触れていただき、目から鱗が落ちる瞬間を体験してもらいたいと思います。

解ければいい、では解けないのも事実ですし、受験勉強であっても、知的好奇心に素直になってほしいと考えています。

「わからない！」でも、「もっといいやり方がある！」でも、「この考え方の背景は？」でも、その正直な叫びを徹底して塾という場でぶつけて欲しいと思います。

指導4本柱

■ 問答授業の活用

ソクラテスメソッドによる揺り動かし

西荻塾は、ソクラテスメソッドを取り入れて授業を実施しています。

ソクラテスメソッドとは、生徒と講師で発問、発話等を頻繁にかわしながら、予め予習してきた内容を踏まえ、解答のプロセスの確認や現場思考能力を鍛えていく手法です。「無知の知」で知られるソクラテスに由来しますが、実際、塾生たちは予習である程度の解答を作っても、意外に問答に窮することはしばしば。その「意外」性に実は、弱点だったり、無理解だったりが見れていることがある。無知の知とまではいきませんが、こうした知的トレーニング（揺り動かし）こそ、ソクラテスメソッドの最大の利点です。

4本柱の2本、「添削のための答案」を素材に、「専門力」のある講師が、教室を徹底した訓練の場に変えていきます。頭をフル回転しながらも、あっという間の授業時間で鍛え上げていきます。

■ 添削結果を活用した授業

答案に全てが現れる。答案で決まる。

試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。大学入試共通テストでも、記述式が導入されます。

たとえば、いわゆる「自由英作文」を課す大学。難関大とよばれる大学では当たり前となりました。しかし、これを英作文の授業で扱うとして、添削抜きにどう講義をするというのでしょうか。そして、添削結果に目を通さずして、目の前の塾生たちに効果的に授業が出来るのでしょうか。

西荻塾は、効果的な授業を行うために、実際に授業を担当する講師が授業前に直接添削を実施します。添削は、機械的なものとどまらず、記述の方法から、内容の深さに至るまで、入試で求められる記述力を添削によって徹底して鍛えます。さらに、添削後すぐに授業で活用することが前提となっていますので、提出と復習がタイムラグなくして可能です。

■ 自習指導との密な連携

自習なくして、結果は伴わず。

西荻塾では、授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか…もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちと授業内外でがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。

授業を担当する講師が直接自習にメスを入れることがどれだけ効果的か。西荻塾は創立以来、これとずっと貫いてきました。

自習なくして、結果は伴わず。机について、すぐに実のある学習を自分で行えるようになる。これが目標です。

■ 常設自習室完備

受講日に関係なく利用できます

西荻塾では、常設の自習スペースを確保しています。受験生や定期試験前を中心に多くの生徒が利用しています。ピリッと張り詰めた空気感のなかで、充実した設備のもと、自習が可能です。

また、講師が授業中でない時間帯は、捕まえて質問や相談は随時可能です。なんでも聞いて欲しいと思います。

※休塾日利用については、セキュリティシステムの運用上、事前手続をお願いしています（高2秋以降）。



■ 自習指導の特徴（授業外）

質問・相談いつでも可能です

西荻塾では、自習指導に力を入れています。クラス授業、個別授業を問わず、すべての受講生は、しっかりと自習指導を授業外の時間で受けることが可能です。

1. 生徒別の自習スタイルの設計

授業以外の時間帯で、お手持ちの学校教材の効果的な利用法、復習リズムの設計、時機に応じて適切な自習用問題集のご紹介や進捗確認などを随時行います。一度決定したものについても、微調整や修正が必要な場合もありますので、定期的に生徒とコミュニケーションを交わしながら進捗のチェックを行っています。

2. 自習用教材選定・学校配布教材活用法など

塾で配布しているもの以外に、自習のために入手しておくべき参考書や問題集などについて、適宜ご紹介を行っています。また、学校で配布される副教材や単語帳について、単に一回的な学校の定期試験や小テストに対応するのみならず、それが入試においても活かされる形で取り組むよう指示を行っています。

3. 模擬試験や定期試験のフィードバック指導

模擬試験の結果や定期試験の答案などは随時お持ちいただいて、フィードバック指導を行っています。具体的には、答案作成の方法や弱点のあぶり出し、日常の学習方法のチェックや修正、動機付け、志望校の選定などの進路指導まで含め、各生徒別に綿密に指導を行っています。塾で受講している科目以外についてもご相談が可能です。

■ 進路指導・面談

いつでもご相談ください

西荻塾では、生徒・保護者の方の進路相談や面談を積極的に実施しています。

1. 生徒別進路面談

西荻塾では、自習指導の一環として生徒と積極的に面談を行っていますが、そのほかに、授業・自習室の様子や、定期試験・模試の様子などから必要があるときは機動的にお声がけをし、面談を実施しています。

日々の学習から志望校の相談、選択科目の選定など、塾で受講している科目以外のご相談にも対応しています。

2. 保護者面談・相談（2者・3者）

西荻塾では、積極的に保護者の方とコミュニケーションを取らせていただいています。普段の様子などから、もし気になることがございましたら、メール・お電話・オンライン・対面など適宜の方法によりいつでもご相談ください。日々の学習状況や大学入試制度、学校の三者面談の事前面談、志望校の選定、入試スケジュール調整など様々なご相談に対応しています。

※全学年、定期的に、塾からメールによるご様子のご報告や、ご面談（対面・オンライン選択可）のお知らせをさせていただいております。



西荻塾（にしおぎじゅく）

杉並区西荻南 3-9-11 フロンティア EX ビル 3 階
TEL 03-3334-5415